

2012年3月期 第2四半期 決算説明資料

1 連結業績の概要

- 1) 連結業績概要 …P. 2
- 2) 売上高の変動要因 …P. 3
- 3) 営業利益の変動要因 …P. 4

2 連結業績の詳細

- 1) セグメント別売上高・営業利益 …P. 5
- 2) 計画比 …P. 12
- 3) 設備投資他 …P. 13
- 4) 損益計算書 …P. 14

3 市場環境と下期施策

- 1) 海外市場 …P. 15
- 2) 金融市場 …P. 17
- 3) 流通・交通市場 …P. 18
- 4) 遊技市場 …P. 19
- 5) 新事業 …P. 20

4 2012年3月期 業績予想

- 1) 2012年3月期 業績予想 …P. 21
- 2) セグメント別売上高・営業利益 …P. 22

5 その他の情報

- 1) 配当予想について …P. 23

当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。
 当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動するなどの
 リスクや不確実性を含んでおります。
 従いまして、投資判断を決定する場合には、本資料の将来の見通しのみに依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。
 また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、
 事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。



1**2012年3月期 第2四半期
連結業績の概要**

- | | |
|-------------|---------|
| 1)連結業績概要 | ・・・P. 2 |
| 2)売上高の変動要因 | ・・・P. 3 |
| 3)営業利益の変動要因 | ・・・P. 4 |

1

連結業績の概要

連結業績概要 前年同期比

GLORY

売上高

遊技市場は前年同期に比べ低調であったものの、海外市場、その他が好調に推移したことにより、全体では前年同期並みで推移。

利益

開発効率や生産性の向上、海外生産・海外調達等のコストダウン施策を推進したが、新製品開発費用の増加等により、前年同期に比べ減少。

(百万円)	2011年3月期 第2四半期 累計期間	2012年3月期 第2四半期 累計期間	前年同期比
売上高	66,458	67,255	+1.2%
うち 保守売上高	15,913 (23.9%)	16,849 (25.1%)	+5.9%
営業利益	5,108 (7.7%)	4,172 (6.2%)	▲18.3%
経常利益	5,515 (8.3%)	4,391 (6.5%)	▲20.4%
四半期純利益	2,935 (4.4%)	2,228 (3.3%)	▲24.1%

※為替レート [ドル]85円 [ユーロ]110円

2

2

2012年3月期 第2四半期累計期間の「連結業績」について

当第2四半期累計期間は前年同期比で増収減益。

〔売上高〕

672億5,500万円（前年同期比プラス1.2%）

金融市場、流通・交通市場、遊技市場が前年同期に比べ減少し、
海外市場、その他が堅調に推移。

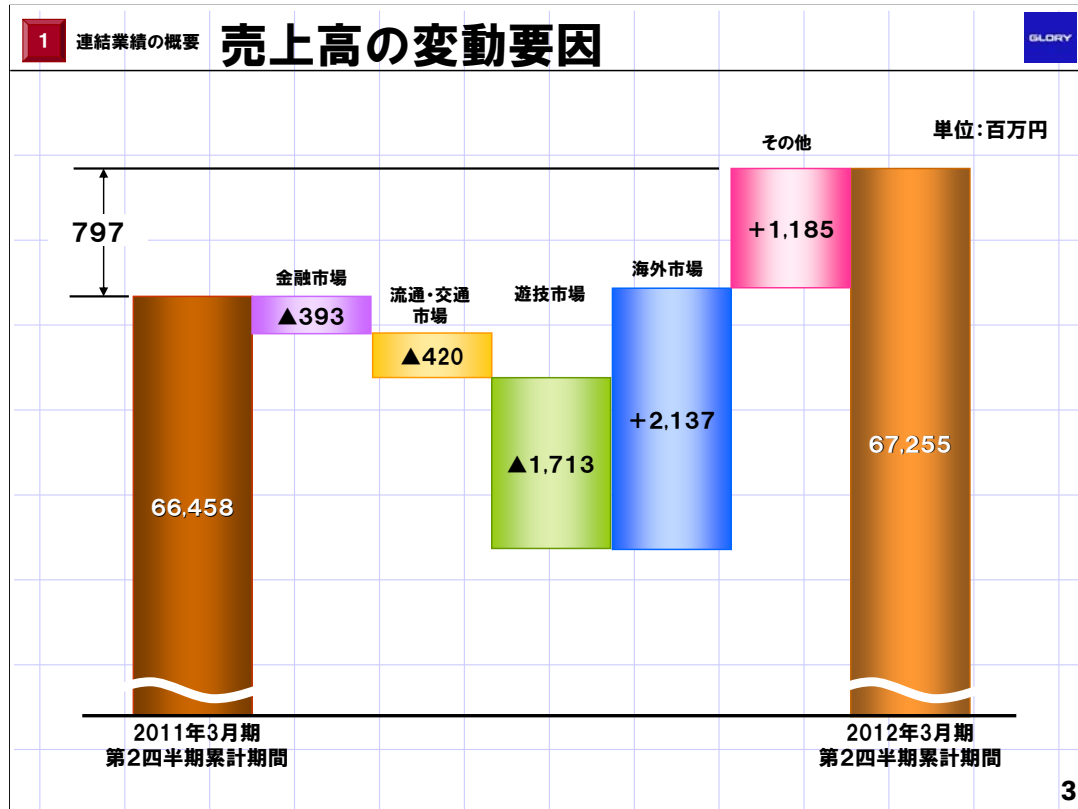
〔利益〕

・**営業利益** 41億7,200万円（前年同期比マイナス18.3%）

海外生産調達等のコストダウン施策を推進したが新製品開発費用等が増加。

・**経常利益** 43億9,100万円（前年同期比マイナス20.4%）

・**四半期純利益** 22億2800万円（前年同期比マイナス24.1%）



売上高の「変動要因」について

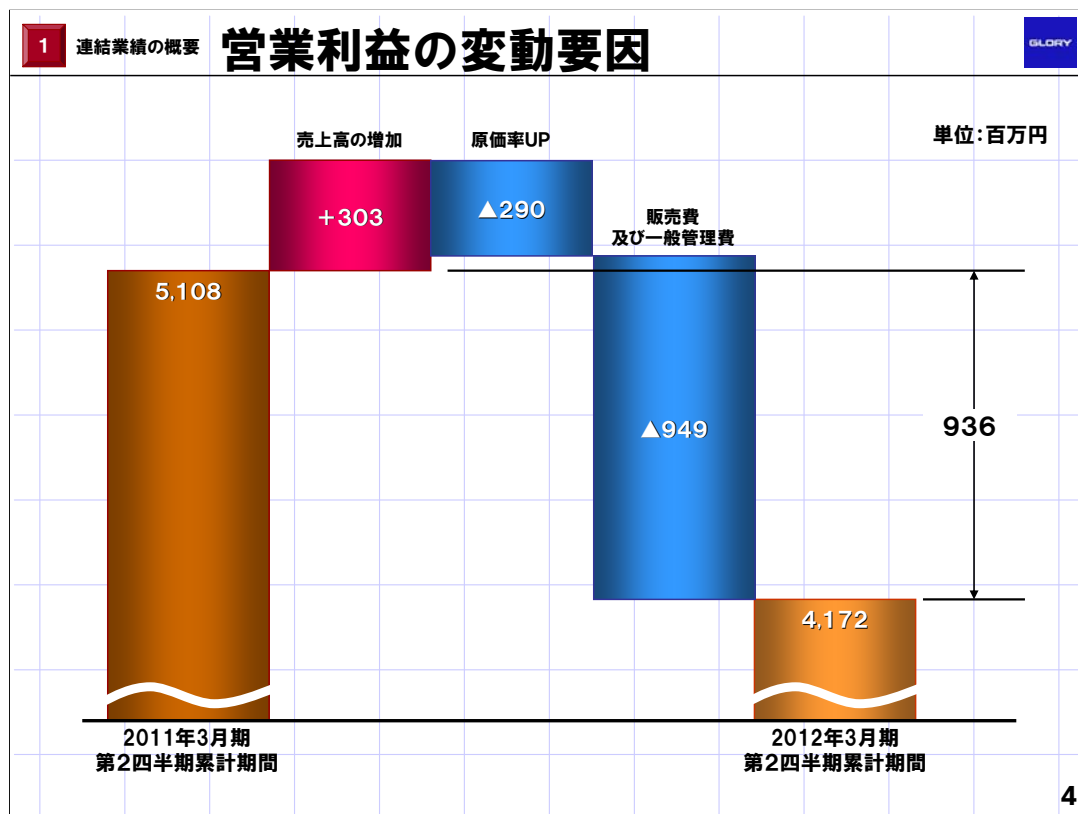
前年同期比プラス7億9,700万円。

〔売上高が増加したセグメント〕

- ・海外市場 プラス21億3,700万円
- ・その他 プラス11億8,500万円

〔売上高が減少したセグメント〕

- ・金融市場 マイナス3億9,300万円
- ・流通・交通市場 マイナス4億2,000万円
- ・遊技市場 マイナス17億1,300万円



「営業利益の変動要因」について

前年同期比マイナス9億3,600万円。

〔主な増加要因〕

- ・売上高増加 プラス3億300万円

〔主な減少要因〕

- ・原価率アップの影響 マイナス2億9,000万円
- ・販管費の増加 マイナス9億4,900万円

2

2012年3月期 第2四半期
連結業績の詳細

1)セグメント別売上高・営業利益	・・・P. 5
2)計画比	・・・P. 12
3)設備投資他	・・・P. 13
4)損益計算書	・・・P. 14

2

連結業績の詳細

セグメント別売上高・営業利益 前年同期比

GLORY

(単位:百万円)

セグメント	売上高			営業利益		
	2011年3月期 第2四半期 累計期間	2012年3月期 第2四半期 累計期間	前年同期比	2011年3月期 第2四半期 累計期間	2012年3月期 第2四半期 累計期間	前年同期比
 金融市場	21,579	21,186	▲393 (▲1.8%)	2,178	1,839	▲339 (▲15.6%)
 流通・交通 市場	13,571	13,151	▲420 (▲3.1%)	1,180	1,724	+544 (+46.1%)
 遊技市場	12,166	10,453	▲1,713 (▲14.1%)	528	129	▲399 (▲75.6%)
 海外市場	13,486	15,623	+2,137 (+15.8%)	1,137	736	▲401 (▲35.3%)
 その他	5,654	6,839	+1,185 (+21.0%)	84	▲258	▲342 (▲407.1%)
合 計	66,458	67,255	+797 (+1.2%)	5,108	4,172	▲936 (▲18.3%)

5

5

「セグメント別売上高と営業利益(前年同期比)」について

[セグメント別売上高]

- ・増収セグメント→海外市場、その他
- ・減収セグメント→金融市場、流通・交通市場、遊技市場

[セグメント別営業利益]

- ・増益セグメント→流通・交通市場
- ・減益セグメント→流通・交通市場を除くセグメント。

2

連結業績の詳細

金融市場

GLORY

●主要製品の販売が堅調

オープン出納システムの販売は、堅調に推移。
OEM商品の販売は、窓口用入出金システムの
ユニットが更新需要の延伸により低調。
市場全体としては前年同期並みの販売で推移。

セグメントの概要

国内の金融機関、日本郵政、OEM先等への
販売・保守

主要製品

オープン出納システム
WAVEシリーズ

窓口用入出金
システムのユニット
RBシリーズ

ATM用硬貨入出金
ユニット
RCNシリーズ

(単位:百万円)

	2011年3月期 第2四半期 累計期間	2012年3月期 第2四半期 累計期間	前年同期比
売上高	21,579	21,186	▲393 (▲1.8%)
構成比率	32.5%	31.5%	▲1.0%
営業利益	2,178	1,839	▲339 (▲15.6%)
構成比率	42.6%	44.1%	+1.5%
営業利益率	10.1%	8.7%	▲1.4%

6

6

「金融市場」について

〔売上高〕

211億8,600万円(前年同期比マイナス1.8%)

〔営業利益〕

18億3,900万円(前年同期比マイナス15.6%)

- ・主要製品であるオープン出納システムの販売は、従来タイプ、コンパクトタイプ共に堅調に推移。
- ・OEM商品である窓口用入出金システムのユニットの販売は更新需要の延伸により低調。
- ・市場全体としては前年同期並みの販売で推移。

●レジつり銭機の販売が堅調

レジつり銭機の販売は順調に推移。
OEM商品の店舗入出金機の販売が低調であり、
市場全体としては前年同期並みで推移。
営業利益は、レジつり銭機の海外生産によるコスト
ダウン効果もあり増加。

セグメントの概要

国内のスーパーマーケット、百貨店、警備輸送会社、
鉄道会社等への販売・保守

主要製品



レジつり銭機
RT/RADシリーズ



小型入金機
DS・DSSシリーズ



現金入出金機
DSRシリーズ

(単位:百万円)

	2011年3月期 第2四半期 累計期間	2012年3月期 第2四半期 累計期間	前年同期比
売上高	13,571	13,151	▲420 (▲3.1%)
構成比率	20.4%	19.6%	▲0.8%
営業利益	1,180	1,724	+544 (+46.1%)
構成比率	23.1%	41.3%	+18.2%
営業利益率	8.7%	13.1%	+4.4%

「流通・交通市場」について

〔売上高〕

131億5,100万円(前年同期比マイナス3.1%)

〔営業利益〕

17億2,400万円(前年同期比プラス46.1%)

- ・主要製品であるレジつり銭機の販売は、前年同期比プラス15%と順調に推移。
- ・OEM商品の店舗入出金機の販売が低調。
- ・市場全体としては前年同期並みの販売。
- ・営業利益は、レジつり銭機の海外生産によるコストダウン効果等により増加。

2

連結業績の詳細

遊技市場

GLORY

●カードシステムの販売が低調

台間メダル貸機の販売が好調に推移。

カードシステム等の販売は、競合他社との競争激化の影響もあり減少。

セグメントの概要

国内の遊技場(パチンコホール等)への販売・保守

主要製品

カードシステム

管理ターミナル

カードユニット

カード精算機

景品保管機
JKシリーズ

(単位:百万円)

	2011年3月期 第2四半期 累計期間	2012年3月期 第2四半期 累計期間	前年同期比
売上高	12,166	10,453	▲1,713 (▲14.1%)
構成比率	18.3%	15.5%	▲2.8%
営業利益	528	129	▲399 (▲75.6%)
構成比率	10.3%	3.1%	▲7.2%
営業利益率	4.3%	1.2%	▲3.1%

8

「遊技市場」について

〔売上高〕

104億5,300万円(前年同期比マイナス14.1%)

〔営業利益〕

1億2,900万円(前年同期比マイナス75.6%)

- ・近年、低迷していたパチスロの人气が回復基調にあり、台間メダル貸機の販売は好調に推移。
- ・カードシステム等の販売は競合他社との競争激化の影響もあり、減少。

2 連結業績の詳細		海外市場		GLORY	
● 紙幣整理機等の販売が堅調 米州ではOEM商品であるATM用ユニットの販売が好調に推移。 アジアでは中国を中心に紙幣整理機の販売が順調。 欧州はイタリアの販売子会社の買収効果により堅調。 営業利益は新製品開発費等の増加により減少。 セグメントの概要 海外の金融機関、警備輸送会社、カジノ、OEM先等への販売・保守 主要製品   					
		(単位:百万円)			
		2011年3月期 第2四半期 累計期間	2012年3月期 第2四半期 累計期間	前年同期比	
売上高		13,486	15,623	+2,137 (+15.8%)	
構成比率		20.3%	23.2%	+2.9%	
営業利益		1,137	736	▲401 (▲35.3%)	
構成比率		22.3%	17.6%	▲4.7%	
営業利益率		8.4%	4.7%	▲3.7%	

9

「海外市場」について

〔売上高〕

156億2,300万円(前年同期比プラス15.8%)

〔営業利益〕

7億3,600万円(前年同期比マイナス35.3%)

- ・米州はOEM商品のATM用紙幣・小切手入金ユニットの販売が好調。
- ・アジアは中国を中心に紙幣整理機の販売が順調。
- ・欧州はイタリアの販売子会社シトラーデ社の買収効果により堅調に推移。

地域別売上高

(単位:百万円)

海外 地域別売上高	2011年3月期 第2四半期 累計期間	2012年3月期 第2四半期 累計期間	差異
米 州	2,628	3,896	+1,268
欧 州	7,816	8,224	+408
アジア	3,042	3,502	+460
内 中 国	1,145	1,265	+120
合 計	13,486	15,623	+2,137
内 OEM	5,673	4,662	▲1,011

10

海外「地域別売上高」について

[米州]

OEM商品のATM用紙幣・小切手入金ユニットの販売が業績を牽引し、前年同期比プラス48.2%の38億9,600万円と順調に推移。

[欧州]

OEM商品は低調であったものの、シトラーデ社の買収効果により、前年同期比プラス5.2%の82億2,400万円と堅調に推移。

[アジア]

中国をはじめインド及びインドネシアにおける紙幣整理機の販売がコンスタントに拡大し、前年同期比プラス15.1%の35億200万円と順調に推移。

2

連結業績の詳細

その他

GLORY

●主要製品の販売が好調

OEM商品である公営競馬場向け当選金払出ユニットの販売やたばこ販売機が順調に推移。

セグメントの概要

国内のたばこ販売店、たばこメーカー、病院、自治体、企業等への販売・保守

主要製品

公営競馬市場向け
当選金払出ユニット
RBKシリーズ

診療費支払機
FHPシリーズ

印刷式同時券売機
VTSシリーズ

(単位:百万円)

	2011年3月期 第2四半期 累計期間	2012年3月期 第2四半期 累計期間	前年同期比
売上高	5,654	6,839	+1,185 (+21.0%)
構成比率	8.5%	10.2%	+1.7%
営業利益	84	▲258	▲342 (▲407.1%)
構成比率	1.6%	▲6.2%	▲7.8%
営業利益率	1.5%	▲3.8%	▲5.3%

11

11

「その他」について

〔売上高〕

68億6,900万円(前年同期比プラス21.0%)

〔営業損益〕

マイナス2億5,800万円(前年同期比マイナス407.1%)

OEM商品の公営競馬場向け当選金払出ユニットやたばこ販売機の販売が順調に推移。

2

連結業績の詳細

セグメント別売上高・営業利益 計画比

GLORY

(単位:百万円)

セグメント	2012年3月期 第2四半期累計期間					
	売上高			営業利益		
	計画	実績	差異	計画	実績	差異
 金融市場	21,000	21,186	+186 (+0.9%)	800	1,839	+1,039 (+129.9%)
 流通・交通 市場	13,000	13,151	+151 (+1.2%)	1,300	1,724	+424 (+32.6%)
 遊技市場	9,000	10,453	+1,453 (+16.1%)	▲400	129	+529 (+132.3%)
 海外市場	16,000	15,623	▲377 (▲2.4%)	900	736	▲164 (▲18.2%)
 その他	6,000	6,839	+839 (+14.0%)	▲100	▲258	▲158 (▲158.0%)
合 計	65,000	67,255	+2,255 (+3.5%)	2,500	4,172	+1,672 (+66.9%)

12

12

「セグメント別売上高、営業利益の計画比」について

〔売上高〕

海外市場を除く全てのセグメントでプラス。

〔営業利益〕

海外市場、その他を除く全てのセグメントでプラス。

設備投資他

(単位:百万円)

	2011年3月期 第2四半期 累計期間	2012年3月期 第2四半期 累計期間	前年同期比	四半期毎の推移												
設備投資額	3,441	3,134	▲307 (▲8.9%)	<table><tr><th>四半期</th><th>設備投資額</th></tr><tr><td>FY10 (2Q)</td><td>1,672</td></tr><tr><td>FY10 (3Q)</td><td>1,323</td></tr><tr><td>FY10 (4Q)</td><td>1,730</td></tr><tr><td>FY11 (1Q)</td><td>1,187</td></tr><tr><td>FY11 (2Q)</td><td>1,947</td></tr></table>	四半期	設備投資額	FY10 (2Q)	1,672	FY10 (3Q)	1,323	FY10 (4Q)	1,730	FY11 (1Q)	1,187	FY11 (2Q)	1,947
四半期	設備投資額															
FY10 (2Q)	1,672															
FY10 (3Q)	1,323															
FY10 (4Q)	1,730															
FY11 (1Q)	1,187															
FY11 (2Q)	1,947															
減価償却費	3,180	3,236	+56 (+1.8%)	<table><tr><th>四半期</th><th>減価償却費</th></tr><tr><td>FY10 (2Q)</td><td>1,582</td></tr><tr><td>FY10 (3Q)</td><td>1,728</td></tr><tr><td>FY10 (4Q)</td><td>1,809</td></tr><tr><td>FY11 (1Q)</td><td>1,555</td></tr><tr><td>FY11 (2Q)</td><td>1,681</td></tr></table>	四半期	減価償却費	FY10 (2Q)	1,582	FY10 (3Q)	1,728	FY10 (4Q)	1,809	FY11 (1Q)	1,555	FY11 (2Q)	1,681
四半期	減価償却費															
FY10 (2Q)	1,582															
FY10 (3Q)	1,728															
FY10 (4Q)	1,809															
FY11 (1Q)	1,555															
FY11 (2Q)	1,681															
研究開発投資額	4,151	5,087	+936 (+22.5%)	<table><tr><th>四半期</th><th>研究開発投資額</th></tr><tr><td>FY10 (2Q)</td><td>2,250</td></tr><tr><td>FY10 (3Q)</td><td>2,155</td></tr><tr><td>FY10 (4Q)</td><td>2,372</td></tr><tr><td>FY11 (1Q)</td><td>2,354</td></tr><tr><td>FY11 (2Q)</td><td>2,733</td></tr></table>	四半期	研究開発投資額	FY10 (2Q)	2,250	FY10 (3Q)	2,155	FY10 (4Q)	2,372	FY11 (1Q)	2,354	FY11 (2Q)	2,733
四半期	研究開発投資額															
FY10 (2Q)	2,250															
FY10 (3Q)	2,155															
FY10 (4Q)	2,372															
FY11 (1Q)	2,354															
FY11 (2Q)	2,733															

「設備投資他」について

- ・設備投資額 31億3,400万円(前年同期比マイナス8.9%)
- ・減価償却費 32億3,600万円(前年同期比プラス1.8%)
- ・研究開発投資額 50億8,700万円(前年同期比プラス22.5%)

損益計算書・包括利益計算書

(単位:百万円)

(百万円)	2011年3月期 第2四半期 累計期間	百分比 (%)	2012年3月期 第2四半期 累計期間	百分比 (%)	増 減
売上高	66,458	100.0	67,255	100.0	+797
売上原価	41,170	61.9	41,954	62.4	+784
販管費	20,179	30.4	21,128	31.4	+949
営業利益	5,108	7.7	4,172	6.2	▲936
営業外収益	880	1.3	600	0.9	▲280
営業外費用	474	0.7	382	0.6	▲92
経常利益	5,515	8.3	4,391	6.5	▲1,124
特別利益	180	0.3	69	0.1	▲111
特別損失	942	1.4	239	0.4	▲703
税金等調整前 四半期純利益	4,753	7.2	4,221	6.3	▲532
法人税等合計	1,818	2.7	1,733	2.6	▲85
四半期純利益	2,935	4.4	2,228	3.3	▲707
少数株主損益調整前 四半期純利益	—	—	2,487	3.7	—
その他包括利益合計	—	—	356	0.5	—
四半期包括利益	—	—	2,844	4.2	—

①売上原価率：新製品開発費等の増加により0.5%アップ。

②営業外損益：為替差損(225百万円)などが発生。(前年同期は為替差損335百万円を計上)

「連結損益計算書」について

[売上原価]

構造改革を推進しているが前年同期比で0.5%アップ。

[販管費率]

前年同期比で1.0%アップ。

[営業利益]

41億7,200万円(前年同期比マイナス18.3%)

[営業外損益]

為替差損として2億2,500万円を計上。

[経常利益]

43億9,100万円(前年同期比マイナス20.4%)

[特別損益]

今期は主だったものはなし。(前年同期:減損損失や退職給付費用を計上)

[四半期純利益]

22億2,800万円(前年同期比マイナス24.1%)

[四半期包括利益]

28億4,400万円(前年同期比プラス25.3%)

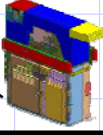
・少数株主損益調整前四半期純利益 24億8,700万円

・その他の包括利益 3億5,600万円

2012年3月期

3**市場環境と下期施策**

- | | |
|-----------|----------|
| 1)海外市場 | ・・・P. 15 |
| 2)金融市場 | ・・・P. 17 |
| 3)流通・交通市場 | ・・・P. 18 |
| 4)遊技市場 | ・・・P. 19 |
| 5)新事業 | ・・・P. 20 |

3 市場環境と 下期施策	海外市場	GLORY
海外事業方針	海外市場を地域別に攻略し、海外事業を拡大する	
米州	・米国では経済の悪化が続き、投資縮小 ・中南米で現金流通量が増加し機械化ニーズが拡大	現金入出金機RBGシリーズの拡販 小売店向け 現金入出金機 RBG-300 (2011年9月発売)  
欧州	・欧州債務問題により景気低迷 ・つり銭機需要の拡大	窓口用紙幣入出金機の営業強化 窓口用 紙幣入出金機 RZ-100  
アジア	・中国大手銀行の投資は堅調 ・インド・インドネシアでの紙幣整理機の需要拡大	紙幣整理機USF-50 (2010年12月発売)  
OEM	・米国での紙幣・小切手入金ユニットの需要は堅調	ATM用紙幣・小切手入金ユニットSCDMシリーズ 

15

「海外市場」について

基本方針：海外市場を地域別に攻略し、海外事業を拡大する

〔米州〕

米国経済の停滞が続き、金融機関の設備投資は抑制傾向。
新製品のRBGシリーズの販売拡大策を展開中。

〔欧州〕

欧州債務問題の混迷で金融機関の設備投資動向が不透明。
窓口用紙幣入出金機の営業を強化中。

〔アジア〕

中国をはじめ、インド、インドネシアなどでの紙幣整理機等の需要が拡大。中国
大手銀行への営業強化とインドでの販売体制の強化を推進。

〔OEM〕

米国でATM用紙幣・小切手入金ユニットの需要が拡大。
OEM先との関係強化策を展開中。

海外事業方針

海外市場を地域別に攻略し、海外事業を拡大する

インドに現地法人設立(2011年6月)

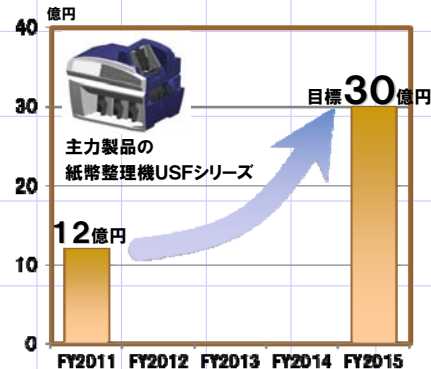
「GLORY Currency Automation India Pvt. Ltd.」



現地法人を設立し、中国に次ぐ巨大市場での販売を飛躍的に拡大。



現地法人を開設(ニューデリー)



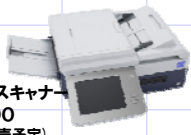
16

インドの現地法人について

2011年6月、首都ニューデリーに
「グローリー カレンシー オートメーション インディア」を設立。

設立以降、現地幹部社員の採用や情報収集活動、各金融機関との関係強化など、体制の整備を推進。

今期売上高目標12億円。

3 市場環境と 下期施策	金融市場	
国内事業方針	国内市場を深掘りし、事業領域を安定的に拡大する	
■ オープン出納システムの販売拡大		
1. 更新促進…導入10年超ユーザーへの更新促進 2. 市場拡大…未導入市場に注力し、シェアを拡大		
・WAVEの更新需要は堅調に推移 ・コンパクトWAVEはターゲット市場での需要拡大 ▶ ターゲット市場への営業強化  WAVE C30シリーズ		
■ 非現金分野の販売拡大		
1. DP事業の拡大		
・新たな分野での営業活動展開 ・新製品の開発 ▶ 新たな分野での需要発掘  パソコン一体型スキャナー FU-500 (2012年2月発売予定)		

17

「金融市場」について

[セグメント重点方針]

- ・主要製品のオープン出納システムの販売拡大
- ・非現金分野での販売拡大

オープン出納システム…

コンパクトWAVEのターゲットユーザーへの営業強化

非現金分野…

新型スキャナーで新たな分野でのDP事業の需要を発掘

3 市場環境と 下期施策	流通・交通市場		GLORY
国内事業方針	国内市場を深掘りし、事業領域を安定的に拡大する		
レジつり銭機 未導入市場の開拓促進			
1. 未導入市場での実績作り(CVS他)			
・CVSでの試行開始 ・専門店・飲食市場での需要拡大		レジつり銭機 RT/RAD200シリーズ 	
▶ CVS、専門店、飲食店への営業強化			
既存市場での売上拡大			
1. 新製品の拡販促進			
・2011年7月 小型入出金機 発売		小型入出金機 DSR200シリーズ 	
▶ スーパーマーケット市場での拡販			
18			

「流通・交通市場」について

[セグメント重点方針]

- ・レジつり銭機の未開拓業種への導入促進
- ・既存市場での売上拡大

レジつり銭機・・・

コンビニエンスストアで試行開始。順次、全国に導入を拡大予定。

飲食店でも大口案件の納入が順調に進行中。

小型入出金機・・・

スーパーマーケット市場のターゲットユーザーへの営業活動を強化。

3 市場環境と 下期施策	遊技市場
国内事業方針	国内市場を深掘りし、事業領域を安定的に拡大する
市場環境に対応するための体質強化	
1. 関連会社2社（グローリーナスカ+クリエイションカード）の 合併効果の早期発揮	
・パチスロ人気回復基調。対象製品需要拡大 ▶ 販売網再編による営業力の強化	
2. 新製品の投入によるラインナップの拡充	
・2011年9月 紙幣搬送システム 発売 ▶ 新製品の提案による拡販	

19

「遊技市場」について

[セグメント重点方針]

市場環境に対応するための体質強化

関連会社2社の合併効果・・・

販売網の再編をはじめ、営業ツールの開発やプライベートショーの開催、営業研修会の実施など、体制を強化中。

新製品の投入・・・

新たな紙幣搬送システムを投入し、年末商戦での受注拡大を図る。

■ 会話保護システム ボイスガードQG-11

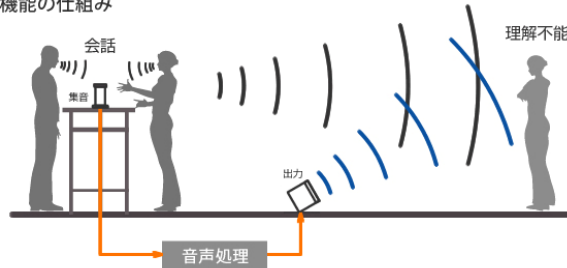
(2011年9月発売)



オープンスペースで第三者に聞かれたくない会話内容を保護する商品。

【設置場所】医療機関、金融機関等

機能の仕組み



- ・大掛かりな施工をすることなく会話を保護。
- ・会話に合わせて防聴音を出力するので、会話のないときには静穏状態を保つことが可能。



薬局での設置イメージ

20

「新事業」の動向について

8月下旬にビクターエンターテインメントと空間音響サービスを提供する事業を共同で推進することを発表。

両社の技術を融合させ、お客様に快適な空間を供与。

- ・ビクターの自然音源に近い音を再生するオーディオシステム
- ・グローリーの会話保護技術

今後、銀行、証券会社をはじめ、幅広い企業や団体、自治体への導入を促進。

4 2012年3月期 業績予想

- 1)2012年3月期 業績予想 …P. 21
2)セグメント別売上高・営業利益 …P. 22

4

2012年3月期
業績予想

2012年3月期

業績予想

GLORY

売上高

海外事業の拡大、並びに国内市場の深掘りが進み、前年同期に比べ増収を予想。

利 益

売上高拡大とコストダウン施策の推進により、前年同期に比べ増益を予想。

(百万円)	2011年3月期 (平成23年3月期)	2012年3月期 (平成24年3月期)	前年同期比
売上高	138,964	145,000	+4.3%
うち 保守売上高	32,092 (23.1%)	33,600 (23.2%)	+4.7%
営業利益	10,323 (7.4%)	11,000 (7.6%)	+6.6%
経常利益	11,028 (7.9%)	11,000 (7.6%)	▲0.3%
当期純利益	6,229 (4.5%)	6,500 (4.5%)	+4.4%

※為替レート [ドル]85円 [ユーロ]110円

21

「2012年3月期の業績」について

- ・売上高 1,450億円(前年同期比プラス4.3%)
- ・営業利益 110億円(前年同期比プラス6.6%)
- ・経常利益 110億円(前年同期比マイナス0.3%)
- ・当期純利益 65億円(前年同期比プラス4.4%)

前回公表値から変更なし。

4

2012年3月期
業績予想

GLORY

セグメント別売上高・営業利益

(百万円)	2012年3月期(平成24年3月期)					
	上半期 実績		下半期 予想		通期 予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
金融市場	21,186	1,839	24,814	2,761	46,000	4,600
流通・交通市場	13,151	1,724	16,849	2,276	30,000	4,000
遊技市場	10,453	129	11,547	571	22,000	700
海外市場	15,623	736	18,377	964	34,000	1,700
その他	6,839	▲258	6,161	258	13,000	0
合 計	67,255	4,172	77,745	6,828	145,000	11,000

22

22

「セグメント別の売上高・営業利益の予想」について

市場環境等を勘案して、売上高、利益とも前回公表値から変更。

【金融市場】

- ・売上高 470億円→460億円
- ・営業利益 47億円→46億円

【流通・交通市場】は

- ・売上高 300億円→300億円
- ・営業利益 39億円→40億円

【遊技市場】

- ・売上高 200億円→220億円
- ・営業利益 2億円→7億円

【海外市場】

- ・売上高 350億円→340億円
- ・営業利益 21億円→17億円

【その他】

- ・売上高 130億円→130億円
- ・営業利益 1億円→0億円

5 その他の情報

1) 配当予想について …P. 23

